

歌人? 書家? 文人 會津八一 美術史学者? 教育者?



- 1〜2 **特集** 歌人? 書家? 美術史学者?
教育者? 文人 會津 八一
- 3 ● 令和6年能登半島地震関連情報
● 拉致問題を考えるパネル展
● 新潟シンフォニエッタTOKI
● 大切な命を守る「マイナ救急」
- 4 ● 冬の新潟を彩るイルミネーション
● 年末年始の業務
- 5 **連載** 輝く高校生
ニキロニュース
● 大雪に備えよう

他3ページは区役所日より
「情報ひろば」は別冊で発行しています

今号は、新潟市初の名誉市民である會津八一と、功績を後世に伝える施設「會津八一記念館」を紹介します。

閩文化政策課
(☎025-226-2563)



文人とは

文学などに精通した学問的教養と詩や文章、書画などの芸術的才能を兼ね備えた知識人のこと。

會津八一ってどんな人?

文人 會津八一

明治から昭和にかけてさまざまな分野で才能を発揮した、新潟市出身の「文人」會津八一は、類いまれな歌人であり、孤高の書家であり、優れた美術史学者であり、教育者でもありました。各分野で作品や功績を残していき、詳しくは2面!!、「新潟日報」の題字や老舗菓子店「大阪屋」の看板を書いたことで知られています。八一が詠んだ短歌を石に刻んだ歌碑も各地にあり、県内では県立図書館や県立新潟高校など16カ所、県外にも奈良の法隆寺や東大寺など、30カ所以上に建てられています。

新潟日報

▲「新潟日報」の題字



▲「大阪屋」の看板



▲法隆寺にある歌碑

「秋艸道人」を名乗る

「八一」という名前は誕生日が8月1日だったことから付けられたといわれています。八一は雅号(ペンネーム)を「秋艸道人」として、「秋艸(秋の草)」は、8月(暦の上では秋)生まれであること、草花を育てるのが得意だったこと、由来します。



▲自書印(秋艸道人)

會津八一の功績を2面で詳しく紹介!



名誉市民とは

市民や新潟市に関係の深い人物のうち、学術や技芸、文化の進展または新潟市の発展に多大な貢献をし、その功績が顕著で市民から深く尊敬される人に与えられる称号のこと。

新潟出身や縁のある偉人はたくさんいますが、八一は晩年故郷の新潟に帰り、地元の文化振興に貢献した点でも高く評価されています。新潟で講演や展覧会を精力的に行ったり、地元新聞で随筆を書いたりしました。八一が生活した「秋艸堂」では多くの市民に文化芸術の話を惜しみなく伝え広めたといわれています。こうした功績が評価され、昭和26年3月に新潟市初の名誉市民に選ばれました。

地元新潟の文化振興に貢献



▲萩、菊、葉鶏頭などをたくさん育てていた

「道人」とは学問・芸術の道を探求する人という意味です。

詳しい人に聞きました!



會津八一記念館 学芸員 湯浅 健次郎さん